

2003年12月12日

博報堂エルダービジネス推進室

広報室

HOPEレポートXI 50s Hi panel「50代夫婦のパートナー評価」

## 夫だけが信じる「ウチは大丈夫」。

「生まれ変わっても一緒になりたい」、は夫7割なのに妻は5割。

「夫」は妻にも自分にも高い評価。「妻」は夫にも自分にもキビシく冷静。

「今後一緒に楽しい時間をすごせそう」なのは「国内旅行」で夫婦とも8割以上が支持

博報堂エルダービジネス推進室では、50歳以上のエルダー生活者について、常時さまざまな調査・研究を実施しておりますが、このたび、新しい調査パネル「50s Hi panel」を構築致しました。この調査パネルは、事前に家庭訪問により設定した、信頼度の高い1220名の50代男女パネルに対し、インターネットで早く簡便に調査が出来るものです。

今回、この「50s Hi panel」を活用し、自主調査として「50代夫婦のパートナー評価」調査を実施、速報がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

今回の調査は、首都圏および関西の50-59歳の既婚男女のパネルに対し、2003年10月に調査を行ったもので、合計311名の有効回答がありました。

この結果、「生まれ変わっても一緒になりたいかどうか」については、男性は「なりたい」が7割近くあり、「なりたくない」は1割未満だったのに対し、女性は「なりたい」が5割、「なりたくない」が全体の4分の1にあたる25%近くもいました。

相手に対する評価では「妻 夫：82点」よりも「夫 妻：91点」のほうが、高くなりました。しかしながら、男性の「良き夫度」は、妻からの評価（平均82点）よりも、自己評価（平均87点）のほうが高い「自惚れ」傾向にあり、一方女性は「良き妻度」は夫からの評価（平均91点）のほうが自己評価（89点）よりも高い「自己卑下」傾向にあることもわかりました。全体として、男性は自分たちを「良き夫・良き妻」と思っているのに対し、妻は夫にも自分にも厳しく、冷静といえそうです。

相手に対するさまざまな要素での満足度を10点満点評価で見ると、「妻 夫」の評価で高いのは「経済面の評価」で（「家計費を十分にいれる：8.2点」「経済力をカサにきない：8.0点」）評価が低いのは「家庭での協力度」（「家事協力：5.6点」「世話が焼けない：6.3点」）に関するものでした。「夫 妻」の場合は、全体的に満足度が高いものの、「口うるさくない：6.9点」「怒ったり感情的にならない：7.0点」などについては、他に比べて評価が低くなりました。

また、夫婦で今後楽しみたいものとしては、男女共に「国内旅行」「海外旅行」「食べ歩き」「散歩」の順で、特に国内旅行は男女とも8割以上の人が「今後夫婦で一緒に楽しい時間をすごせそう」と答えました。

本件に関するお問い合わせ

博報堂 広報室  
エルダービジネス推進室

宮川 Tel：03-5446-6161  
阪本・田中 Tel：03-5446-4355

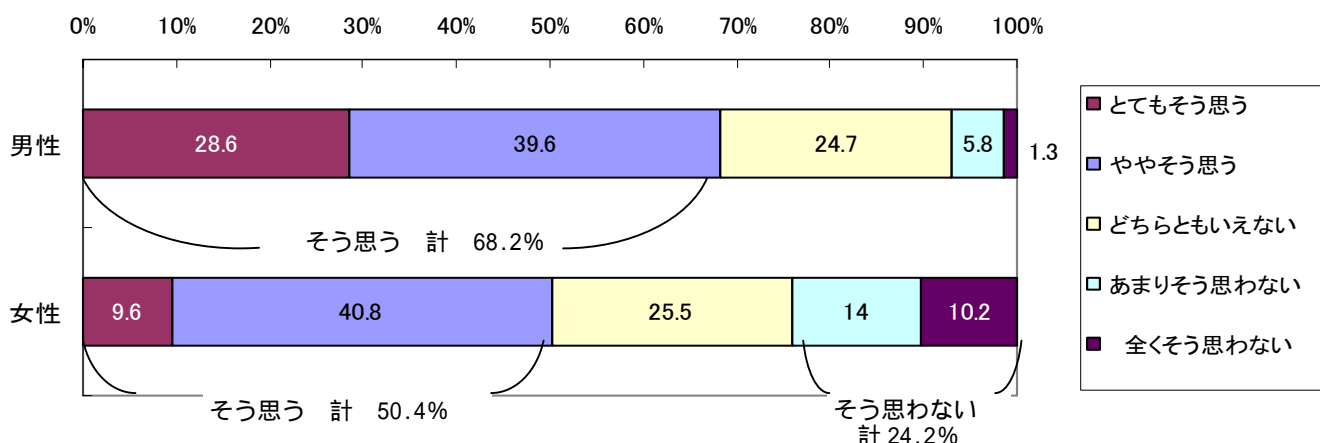
## 添付資料：調査データ

調査概要 調査時期：2003年10月  
 調査地域：東京40km圏および大阪/京都/神戸  
 調査対象：50-59才既婚男女 311名（有効回答）  
 調査方法：事前面接にてパネルを設定したインターネット調査（Hi-panel）

夫は「生まれ変わったらもう一度一緒にになりたい」が約7割。妻は「なりたくない」が1/4も。

「生まれ変わったらもう一度一緒にになりたいか」という究極の選択について、夫側は、2/3以上にあたる68.2%が「そう思う」と答えているのに対し、妻側では、「そう思う：50.4%」と半数に達するものの、「そう思わない」が1/4近くの24.2%もいました。夫側の「そう思わない」が7.1%であるのに対し、かなり開きがあると言えます。

生まれ変わっても一緒にになりたいか

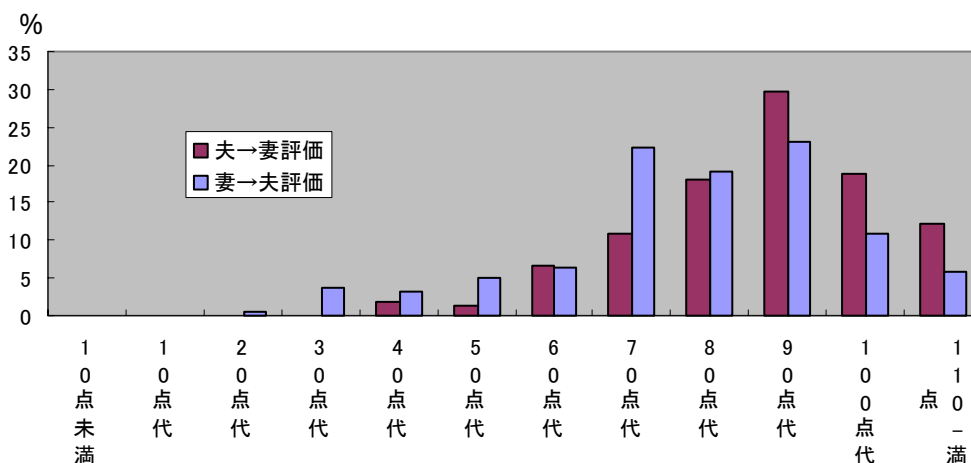


夫は妻を高く評価。

50代既婚男女に、12項目について、それぞれ10点満点で自分の配偶者を評価してもらいました。（120点満点）

妻 夫への評価は、70点台と90点台の二つの山に分かれるのに対し、夫 妻への評価は90点台にピークがありました。夫への評価の平均点は82点（1項目平均では6.83点）。妻への評価平均点は91点（項目平均7.62）。夫は妻を高く評価しているようです。

50代男女の配偶者評価

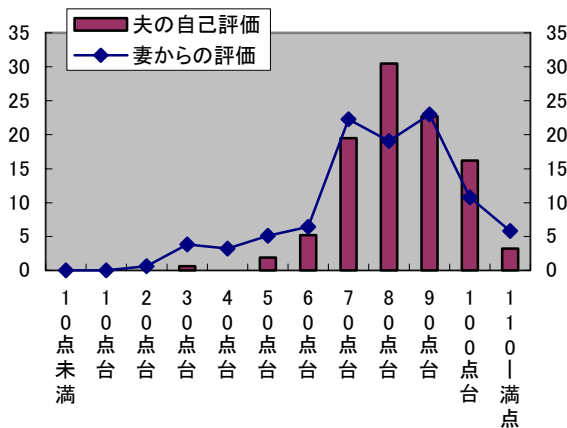


夫は自惚れ、妻は自己卑下。とはいえ、自分以上に夫に厳しい妻。

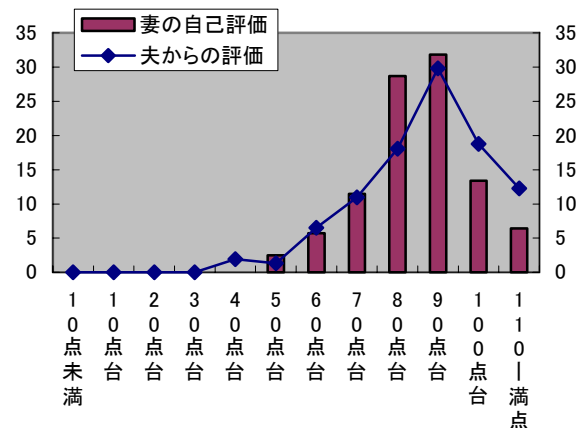
妻からやや辛い評価を受けている夫たちですが、「良き夫度」の自己評価は、平均8.7点となり、実際の「妻 夫」の評価である平均8.2点よりも高くなりました。男性は、自分で思っているほど妻からは評価されていないようです。

一方、「良き妻度」の「夫 妻」の評価が平均9.1点と、夫からの評価の高かった妻たちですが、「良き妻度」の自己評価は平均8.9点でした。自分では、夫が思うほども良き妻をしていないと採点しています。ただし、それでも対夫評価に比べれば自己評価が高く、「自分以上に夫に厳しい妻」とも言えます。

夫の自己評価と配偶者からの評価



妻の自己評価と配偶者からの評価

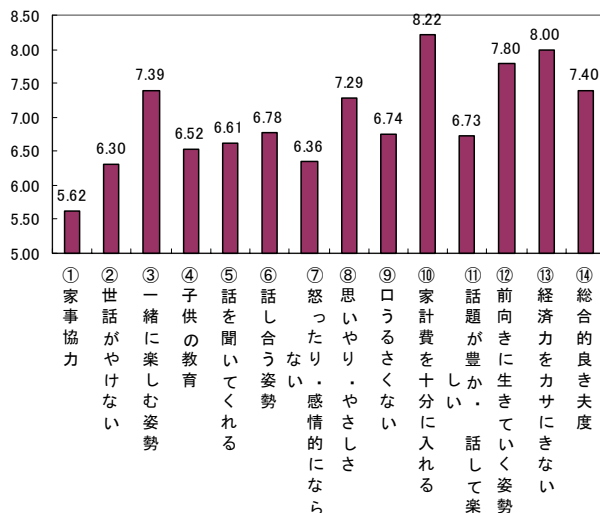


「大黒柱としては高い評価だが、家庭内自立はイマイチ」な夫。「口うるさくなければ最高」の妻。

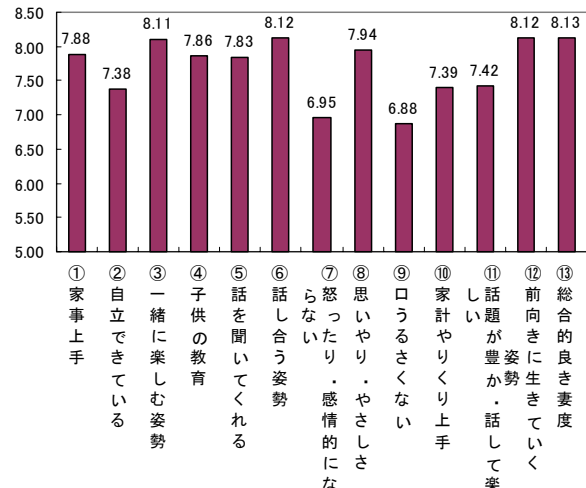
妻からやや辛い評価を受けている夫たちですが、具体的にどういう点で評価されているかを見てみると、「家計費を十分に入れる」「経済力をカサにきない」など、一家の大黒柱としての経済面での評価は高く、一方で「家事協力」「世話が焼けない」など家庭における協力度、自立度で評価が低いようです。

また、夫から総じて評価の高い妻ですが、「口うるさくない」「怒ったり感情的にならない」という点での評価は他の項目に比べて低くなりました。

妻の夫評価(項目別)



夫→妻評価

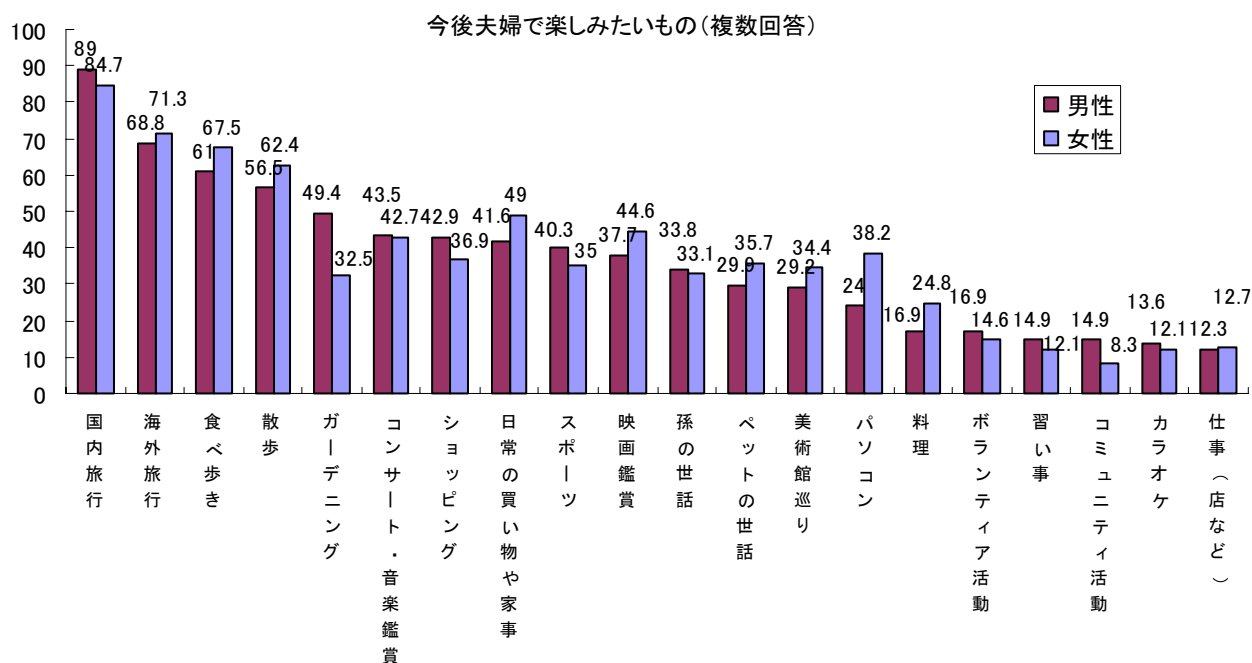


今後夫婦で楽しみたいものは、男女共に「国内旅行」「海外旅行」「食べ歩き」「散歩」の順。男女の差が大きいのは夫の希望が強い「ガーデニング」と、妻の希望が強い「パソコン」。

これから夫婦でどういうことをして楽しみたいかを聞いてみたところ、夫婦共にベスト4は一緒に、「国内旅行」「海外旅行」「食べ歩き」「散歩」の順でした。距離の遠近に関わらず、「夫婦で出掛ける」楽しみはいろいろな需要がありそうです。ただし、その次は男性が「ガーデニング」「コンサート・音楽鑑賞」だったのに対し、女性は「日常の買い物」「映画鑑賞」で、男女の意識の違い(すれちがい)が生まれています。

特に、男女のすれちがいが目立った項目は「ガーデニング：男性 49.4%、女性 32.5%」と「パソコン：男性 24.0%、女性 38.2%」で、自分が思っているほど、相手がやりたがっていないものもありそうです。

また、同じ50代でも年齢によって若干の違いがあり、ポスト団塊女性(昭和25～27年生)だけは、「一緒に楽しみたい事」のトップは、「海外旅行：82.6%」となり、アクティブな様子がうかがえます。今後、50代男性の「実行力」が「夫婦で楽しく一緒に過ごす」ためのカギとなりそうです。



## ご参考

エルダーの規定（博報堂エルダービジネス推進室による）

50歳以上の高齢者を「エルダー」と規定	
導入期	50～64歳
本格期（高齢者）	65歳以上
前期高齢者	65～74歳
後期高齢者	75歳以上

### これまで発行したHOPEレポート

1. HOPE レポート ニューエルダーの登場（2001年5月・既報）  
・ニューエルダーの登場 エルダー世代関係づくりのキーワードは「情報縁」
2. HOPE レポート 情報縁：つながる場（2001年7月・既報）  
・ユニバーサルデザイン
3. HOPE レポート 情報縁：つながる関係（2001年8月・既報）  
・エルダーの人間関係
4. HOPE レポート 情報縁：3世代コミュニケーション（2001年9月・既報）  
エルダーの「子供」「孫」とのコミュニケーション
5. HOPE レポート 「エルダー層のお金に対する意識調査」（2001年11月・既報）
6. HOPE レポート つながるメディア「ラジオとエルダー」（2001年11月・既報）
7. HOPE レポート 「エルダーと旅」（2002年3月・既報）
8. HOPE レポート 「50代調査速報」（2002年7月・既報）
9. HOPE レポート 「HOPEサーベイ速報：エルダーとパソコン・携帯電話」（2002年10月・既報）
10. HOPE レポート 「50代60代1600名のお金に関する意識データ」（2003年3月・既報）
11. HOPE レポート増刊『新しい大人文化』創造のヒント 『開け ひま』（2003年10月・既報）
12. HOPE レポート XI 「50代夫婦のパートナー評価」（今回）

\*このニュースリリースは高齢者も読みやすい11ポイント以上の文字を使用しています。

（11ポイントは、これ以上小さくなると読みにくくなる限度です）